SCCサブスクリプションの管理：有効期限と猶予期間の通知

内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[受信した通知](#)

[トライアル](#)

[外部リソース](#)

概要

このドキュメントでは、Security Cloud Control(SCC)製品サブスクリプションの有効期限が切れ、猶予期間内にサブスクリプションがどのように処理されるかについて説明します。

背景説明

サブスクリプションは、サブスクリプション終了日に即時に非アクティブ化されません。 すべてのSCC製品は、CommerceおよびSCCプラットフォームから猶予期間を得て、製品のサービスを30日延長します。

スケジュールは次のとおりです。

1. 日付0:サブスクリプション終了日
2. 1 ~ 15日目：Cisco Commerceの猶予期間
3. 16日目：Commerce Graceの有効期限が切れ、PIAM/SCCが停止信号を受信、SCC Platform Graceが開始
4. 16 ~ 30日目：SCCプラットフォームの猶予期間（フルアクセスを維持）
5. 31日目：プラットフォームの猶予期間の終了、サービスの一時停止/資格の取り消し

受信した通知

電子メール通知を受信します。

- 有効期限（日付1）
- 有効期限の16日後にSCCプラットフォームの猶予期間が開始されます（日付16）。
- 3日ごとに30日目（19,22,25,28日目。4通の電子メール）
- 有効期限の30日後（日付31）

製品サブスクリプションのステータスは、SCCダッシュボードから確認できます。

トライアル

トライアル通知の処理方法は異なります。これは、がSecure Trial Consoleで管理されるためです。主な違いは次のとおりです。

- トライアルには猶予期間がありません – トライアルは終了日に終了します
- トライアルが終了する前に通知メールが送信される

トライアルでEメール通知を受信：

- サブスクリプションの有効期限が切れる7日前（日付–7）
- サブスクリプションの有効期限が切れる1日前（日付–1）

外部リソース

SCCプラットフォームがここに記載されている場合、猶予期間。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。